

**Microsoft WindowsNT/2000/XP 対応
CB-418-T3
プリンタドライバ概略説明書**

第 9 版 2002 年 7 月

東芝テック株式会社

目 次

はじめに	2
1.概要	2
1.1 特長	
1.2 対象プリンタ	
1.3 動作条件	
2.インストール	4
2.1 インストール方法	
2.2 削除方法	
3.システム構成	7
4.プリンタドライバの機能	10
4.1 印刷する前のプリンタの設定	
4.2 プリンタのプロパティ設定項目	
4.3 ドキュメントのプロパティ設定項目	
5.使用上の注意	18
5.1 用紙について	
5.2 カット間隔について	
5.3 制限のあるアプリケーションソフトについて	

はじめに

本説明書は東芝テック製カラーバーコードプリンタ用 WindowsNT4.0/2000/XP 対応プリンタドライバ V1.12 の仕様について、その概要を記載したものです。プリンタドライバをご使用になる前、ご使用いただいて不明な点がある場合に、本書 または、インストール用FD内の Readme.wri や、ヘルプをご覧ください。

Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。

Windows NT、Windows 2000、Windows XP は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における商標です。

Pentium は、米国 Intel Corporation の商標です。

その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

注意

本書では操作手順の表記をできるだけ簡単にするために、部分的に “→” を使用しています。

例えば、『[スタート]メニューの [設定] から [プリンタ] を選択する』という操作説明を『[スタート]→ [設定]→ [プリンタ] を選択する』と表現します。

本書では各項目の表記は Windows NT に対応しています。Windows 2000/XP で使用する場合、各項目の表記を以下の通りに置き換えて参照ください。

ドキュメントの既定値 → 印刷設定

既定のドキュメントのプロパティ → 印刷設定

[詳細] タブ → [詳細設定...] ボタン

[ヘルプ] ボタン → [プロパティ...] ボタン

1. 概 要

1.1 特長

本プリンタドライバはカラーバーコードプリンタに対応する WindowsNT4.0/2000/XP 環境下用のプリンタドライバです。

- ・ Windows アプリケーションからのカラー印刷が簡単に行えます。
- ・ カラーバーコードプリンタ固有の命令 (制御コマンド) を知ることなく、レーザーやインクジェットプリンタなどの OA 用カラープリンタと同じように使用できます。
- ・ カラーバーコードプリンタ特有の、ラベルサイズ、透過 / 反射センサー、カット印刷などの設定を簡単に行うことができます。
- ・ カラーバーコードプリンタとの接続はパラレルポート (セントロニクス) で接続します。プリンタサーバー機器にカラーバーコードプリンタを接続することにより、カラーバーコードプリンタをネットワーク上の共有プリンタとしてご使用いただけます。
- ・ カラーバーコードプリンタに内蔵しているプリンタフォント、バーコード、2次元コード及びラインは使用できません。
- ・ バーコードジェネレーターソフト (Windows 用) は、付属していません。

1.2 対象プリンタ

東芝テック製カラーバーコードプリンタ

・CB-418-T3 (4インチ幅カラー プリンタ,305 dpi)

・CB-418-T3 FINE MODE (4インチ幅カラー プリンタ,305dpi×610dpi)

FINE MODE は、CB-418-T3 プリンタのファームウェアバージョンが V2.0 以降であること

1.3 動作条件

本プリンタドライバは以下のシステムおよび環境でご利用になれます。

・ソフトウェア 日本語Windows NT4.0 Workstation / Server

日本語Windows 2000 Professional / Server

日本語Windows XP Professional / Home Edition

・ハードウェア WindowsNT/2000/XPが動作するPC (IBM ATコンパチブル)。

64Mバイト以上のシステムメモリ 100Mバイト以上の空きがあるハードディスクが必要です。

バーコードプリンタをPCに接続する場合、セントロニクスI/Fが必要です。

推奨条件

プロセッサ Pentium® (300MHz以上)

システムメモリ128Mバイト以上

注意

・WindowsNT/2000/XP英語版では使用できません。

・上記以外のOSを使用しているクライアントマシンから印刷する場合、本プリンタドライバは使用されません。

・上記のハードウェアの条件で、用紙サイズの高さが300.0mmを超えるラベルの印刷をする場合、白紙が出る
ことがあります。その場合、メモリを増設する必要があります。

・用紙サイズの高さが大きいラベルの印刷で時間かかる場合はメモリを増設してください。

CB-418-T3の推奨条件

用紙サイズの高さ600.0mm以上の場合

プロセッサ Pentium (300MHz以上) システムメモリ128Mバイト以上

CB-418-T3 (FINE MODE)の推奨条件

用紙サイズの高さ150.0mm以上500.0未満の場合

プロセッサ Pentium (300MHz以上) システムメモリ128Mバイト以上

用紙サイズの高さ500.0mm以上の場合

プロセッサ Pentium (300MHz以上) システムメモリ192Mバイト以上

2. インストール

2.1 インストール方法

インストール方法は、ローカルプリンタにて印刷する場合と、リモートプリンタにて印刷する場合で異なります。

Windows NT4.0

■ ローカルプリンタにて印刷する場合

- (1) Windows NTを起動し、プリンタの設定に関するフルコントロールアクセス権を有するメンバーとしてログインします。
- (2) [スタート]→[設定]→[プリンタ]を選択し、[プリンタ]フォルダを表示します。
- (3) [プリンタの追加]アイコンをダブルクリックしてプリンタの追加ウィザードを起動します。
- (4) “このコンピュータ(M)”を選択し、[次へ]をクリックします。
- (5) プリンタに使用するポートを選択し、[次へ]をクリックします。
- (6) 製造元とプリンタの一覧が表示されたら、[ディスク使用(H)...]をクリックします。
- (7) インストール用フロッピーディスクを指定したドライブに挿入して[OK]ボタンをクリックします。
- (8) フロッピーディスクからインストール可能なプリンタの一覧が表示されます。

TEC CB-418-T3

TEC CB-418-T3 (FINE MODE) (Windows NT用プリンタドライバV1.10に対応)

- (9) インストールする機種を選択し、[次へ]をクリックします。
- (10) 現在のドライバを使用するか新しいドライバに置き換えるかを選択し、[次へ]をクリックします。(初めてインストールする場合にはこの操作は省略されます。)
- (11) 通常使うプリンタとして使用するかどうかを選択し、[次へ]をクリックします。
- (12) ネットワーク上のほかのユーザーとプリンタを共有するかどうかを選択し、[次へ]をクリックします。
- (13) テストページの印刷をするかどうかを選択し、[完了]ボタンをクリックします。
- (14) インストールが終了すると、プリンタドライバ関連のファイルがコピーされ、[プリンタ]フォルダに新しくアイコンが追加されます。

■ リモートプリンタにて印刷する場合

- (1) ローカルプリンタにて印刷する場合のインストール方法(1)～(4)を行います。
- (5) “ネットワークプリンタ サーバー(E)”を選択し、[次へ]をクリックします。
- (6) “共有プリンタ(S)”リストから接続するプリンタを選択し、“プリンタ(P)”一覧に表示します。
- (7) [OK]ボタンをクリックします。
- (8) 通常使うプリンタとして使用するかどうかを選択し、[次へ]をクリックします。
- (9) [完了]ボタンをクリックします。
- (10) インストールが終了すると、プリンタドライバ関連のファイルがコピーされ、[プリンタ]フォルダに新しくアイコンが追加されます。

Windows2000/XP

■ ローカルプリントにて印刷する場合

- (1) Windows NTを起動し、プリンタの設定に関するフルコントロールアクセス権を有するメンバーとしてログインします。
- (2) [スタート]→ [設定]→ [プリンタ]を選択し、[プリンタ]フォルダを表示します。
- (3) [プリンタの追加]アイコンをダブルクリックしてプリンタの追加ウィザードを起動します。プリンタの追加ウィザードの開始が表示されたら、[次へ]をクリックします。
- (4) “ローカルプリンタ(L)”を選択し、[次へ]をクリックします。
- (5) プリンタに使用するポートを選択し、[次へ]をクリックします。
- (6) 製造元とプリンタの一覧が表示されたら、[ディスク使用(H)...]をクリックします。
- (7) インストール用フロッピーディスクを指定したドライブに挿入して[OK]ボタンをクリックします。
- (8) フロッピーディスクからインストール可能なプリンタの一覧が表示されます。

TEC CB-418-T3

TEC CB-418-T3 (FINE MODE) (WindowsNT用プリンタドライバV1.10より対応)

- (9) インストールする機種を選択し、[次へ]をクリックします。
- (10) 現在のドライバを使用するか新しいドライバに置き換えるかを選択し、[次へ]をクリックします。(初めてインストールする場合にはこの操作は省略されます。)
- (11) 通常使うプリンタとして使用するかしないかを選択し、[次へ]をクリックします。
- (12) ネットワーク上のほかのユーザーとプリンタを共有するかしないかを選択し、[次へ]をクリックします。
- (13) テストページの印刷をするかしないかを選択し、[完了]ボタンをクリックします。
- (14) インストールが終了すると、プリンタドライバ関連のファイルがコピーされ、[プリンタ]フォルダに新しくアイコンが追加されます。
- (15) デジタル署名が見つかりませんでしたと表示されたら、[はい]をクリックし続行します。
- (16) 操作を完了できませんでしたと表示された場合、[OK]をクリックし、再度(14)からやり直してください。
- (17) インストールが終了すると、プリンタドライバ関連のファイルがコピーされ、[プリンタ]フォルダに新しくアイコンが追加されます。

■ リモートプリントにて印刷する場合

- (1) ローカルプリントにて印刷する場合のインストール方法(1)～(4)を行います。
- (5) “ネットワークプリンタ(E)”を選択し、[次へ]をクリックします。
- (6) プリンタの検索のオプションを選択し、[次へ]をクリックします。
- (7) “共有プリンタ(S)”リストから接続するプリンタを選択し、“プリンタ(P)”覧に表示します。
- (8) [次へ]ボタンをクリックします。
- (9) 通常使うプリンタとして使用するかどうかを選択し、[次へ]をクリックします。
- (10) [完了]ボタンをクリックします。
- (11) インストールが終了すると、プリンタドライバ関連のファイルがコピーされ、[プリンタ]フォルダに新しくアイコンが追加されます。

注意

- ・ プリンタドライバのインストールを行うためには、プリンタの設定に関するフルコントロールアクセス権が必要です。
- ・ Windows 2000のプリンタドライバの上書きインストールで、インストールが失敗することがあります。その場合、プリンタの追加ウィザードの完了からやり直してください。

2.2 削除方法

プリンタドライバを削除する前に、用紙を削除することをお勧めします。(注意参照)

■ プリンタドライバ削除方法

- (1) [スタート]→[設定]→[プリンタ]を選択し、[プリンタ]フォルダを表示します。
- (2) 削除するプリンタ名のアイコンを選択して、右クリックします。
- (3) [削除]→[はい]でプリンタドライバを削除します。
- (4) プリンタドライバの削除が終了すると、[プリンタ]フォルダからアイコンが削除されます。

注意

登録した用紙は、プリンタドライバを削除した後も[サーバーのプロパティ]の用紙リストからは消えません。この用紙はそのままでも問題はありませんが、削除することをお勧めします。(これらの用紙は再度プリンタドライバインストールしても使用できません。)

用紙削除方法の詳細については「5.4 システムに登録されている用紙の削除方法について」の「弊社プリンタドライバの用紙作成機能にて登録した用紙を削除する。」を参照してください。

用紙を削除する場合は、プリンタドライバを削除する前に行うと、消し間違いを防ぐことができます。

操作としては、まず、[ラベルのプロパティ/追加/削除]ボタン→[一般設定]タブの[削除]ボタンにて登録した用紙を削除します。この時、全ての用紙を削除することができず必ず1つ残りますが、この状態でプリンタドライバの削除を行います。次に残された用紙を[サーバーのプロパティ]→[用紙]タブの[削除]ボタンにて削除します。

3. システム構成

本プリンタドライバは、以下のようなシステム構成でご利用いただけます。

項目説明

PC :	DOS / V機 (IBM PC-AT互換機)
WinNT :	Windows NT4.0/2000/XP
Win95 :	Windows 95/98
プリンタ :	東芝テック製カラーバーコードプリンタCB-418-T3
セントロ :	セントロニクスケーブル
プリンタ・サーバー :	EtherNet用プリンタ・サーバー機器
プリンタドライバ :	WindowsNT対応 CB-418-T3 プリンタドライバV1.05以降 Windows 95対応 CB-418-T3 プリンタドライバV 1.00以降

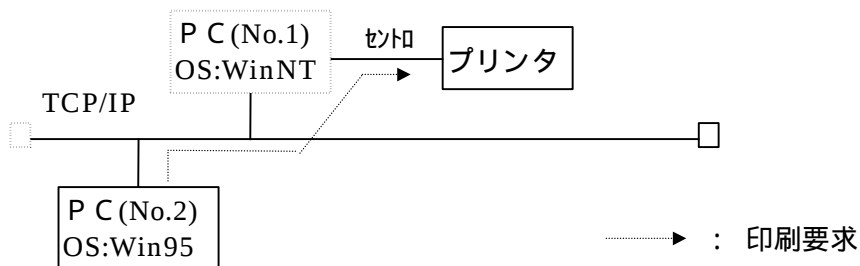
【例 1】



設定 :

PC (No.1) に Win NT 対応プリンタドライバをインストールする。
(印刷するポートは LPT1 (Local Port) に指定する。)

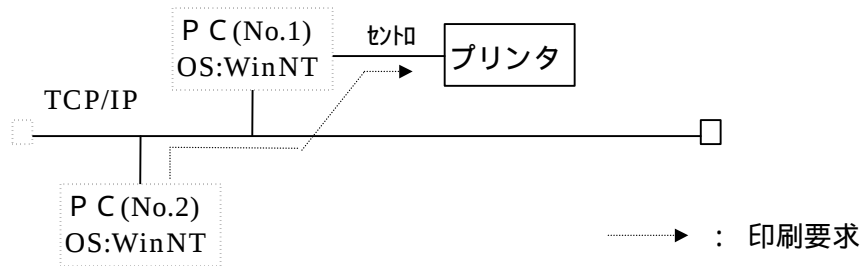
【例 2】



設定 :

PC (No.1) に Win NT 対応プリンタドライバをインストールする。
(印刷するポートは LPT1 (Local Port) に指定する。)
PC (No.1) のプリンタをプリンタのプロパティにて共有プリンタに指定する。
PC (No.2) に Win95 対応プリンタドライバを、PC (No.1) に接続されたプリンタのネットワークパスを指定しネットワークプリンタとしてインストールする。

【例 3】



設定：

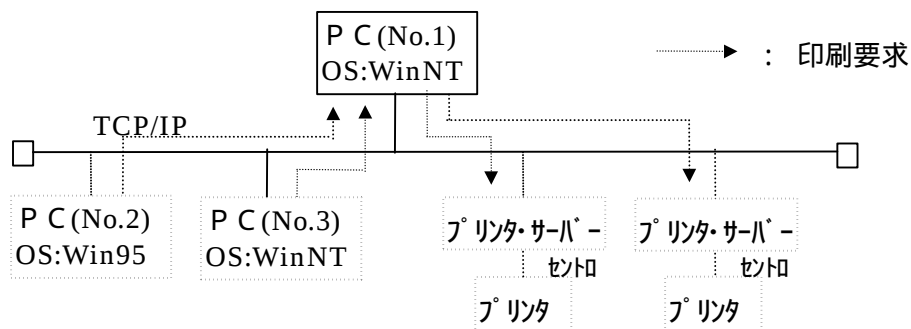
PC (No.1) に Win NT 対応プリンタドライバをインストールする。

(印刷するポートは LPT1 (Local Port) に指定する。)

PC (No.1) のプリンタをプリンタのプロパティにて共有プリンタに指定する。

PC (No.2) に WinNT 対応プリンタドライバを、PC (No.1) に接続されたプリンタのネットワークパスを指定しネットワークプリンタとしてインストールする。

【例 4】



設定：

PC (No.1) に Win NT 対応プリンタドライバをプリンタ台数分インストールする。

PC (No.1) にインストールしたプリンタドライバのプロパティにて、プリンタ・サーバーのアドレスを指定した LPR Port を追加する。

(LPR Port の追加は、ネットワークサービス (Microsoft TCP/IP 印刷) をインストール後、プリンタのプロパティの [ポート] タブの [ポートの追加] ボタンにて行なう。)

PC (No.1) のプリンタをプリンタのプロパティにて共有プリンタに指定する。

PC (No.2) に Win95 対応プリンタドライバをインストールする。 (注 1)

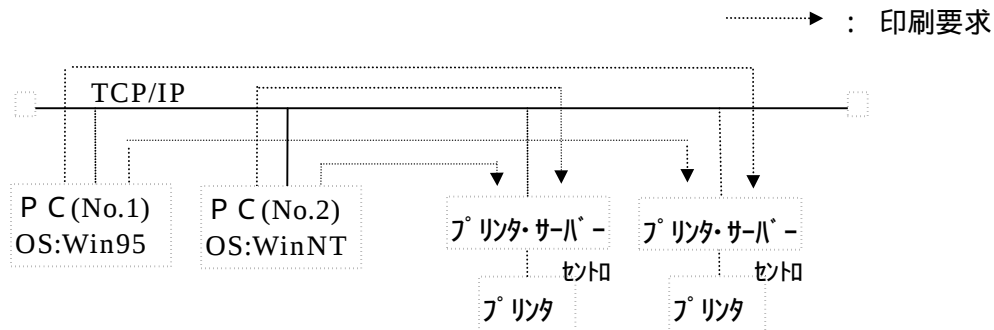
PC (No.2) にインストールしたプリンタドライバのプロパティにて、PC (No.1) のプリンタのネットワークパスを指定したネットワークポートを追加する。

(ネットワークポートの追加は、プリンタのプロパティの [詳細] タブの [ポートの追加] ボタンにて行なう。)

PC (No.2) の印刷先のポートを、 で追加したネットワークポートに指定する。

PC (No.3) に Win NT 対応プリンタドライバを、PC (No.1) に接続されたプリンタのネットワークパスを指定しネットワークプリンタとしてインストールする。

【例 5】



設定：

PC (No.1) に Win95 対応プリンタドライバをインストールする。(注 1)

プリンタ・サーバーのアドレスを指定した LPR Port を追加する。

(LPR Port の追加は、プリンタ・サーバーの設定ユーティリティ等の他のソフトウェアにて行なう。)

PC (No.1) の印刷先のポートを、 で追加した LPR Port に指定する。

PC (No.2) に Win NT 対応プリンタドライバをプリンタ台数分インストールする。

PC (No.2) にインストールしたプリンタドライバのプロパティにて、プリンタ・サーバーのアドレスを指定した LPR Port を追加する。

(LPR Port の追加は、ネットワークサービス (Microsoft TCP/IP 印刷) をインストール後、プリンタのプロパティの [ポート] タブの [ポートの追加] ボタンにて行なう。)

PC (No.2) の印刷先のポートを、 で追加した LPR Port に指定する。

(注 1)

CB-418-T3用Win95/98対応プリンタドライバは、1台のPCに対し、複数のプリンタドライバをインストールできません。印刷に使用するプリンタを変更する場合は、プリンタのプロパティから、印刷先のポートの指定を、使用するプリンタのネットワークポートまたはプリンタが接続されているプリンタ・サーバーのアドレスを指定したLPR Port に切換えることにより変更してください。

(注 2)

1台のプリンタに対し、複数のクライアントPCから同時に印刷を行うと、プリンタ側で“ コントラ ”が発生し、正しく印刷されない場合があります。

1台のプリンタで複数クライアントからの印刷を行う場合、【例 4】の構成をお勧めします。

4. プリントドライバの機能

4.1 印刷する前のプリンタの設定

用紙(用紙サイズ)の登録

本プリントドライバは任意サイズの用紙を複数種類登録することができます。

まず、印刷する前の設定として印刷する時に使用する用紙(用紙サイズ)の登録を行います。用紙(用紙サイズ)の登録をしないと印刷することができません。

用紙の登録では、ラベル名や用紙サイズの他に印刷に関する諸条件も設定します。

- (1) [スタート]→ [設定] → [プリンタ] を選択し、[プリンタ]フォルダを表示します。
- (2) 使用するプリンタのアイコンを選択して、右クリックします。
- (3) メニューから[プロパティ]を選択し、[デバイスの設定]タブをクリックすると用紙設定用のシートが表示されます。
- (4) [ラベルのプロパティ/追加/削除]→ [ラベルのプロパティ]ダイアログボックスを表示します。
- (5) 必要な設定を行い、[OK]ボタンをクリックして[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスを閉じます。

トキュメントの既定値の設定

アプリケーションソフトを起動したときの用紙種類などの初期値は、[プリンタ]の[トキュメントの既定値]で設定することができます。

- (1) [スタート]→ [設定] → [プリンタ] を選択し、[プリンタ]フォルダを表示します。
- (2) 使用するプリンタのアイコンを選択して、右クリックします。
- (3) メニューから[トキュメントの既定値]を選択し、[プリンタの既定のトキュメントのプロパティ]ダイアログボックスを表示します。
- (4) 必要な設定を行い、[OK]ボタンをクリックして[プリンタの既定のトキュメントのプロパティ]ダイアログボックスを閉じます。

注意

用紙(用紙サイズ)の登録、及びトキュメントの既定値の設定を行うためには、プリンタの設定に関するフルコントロールアクセス権が必要です。

印刷するトキュメントの設定

通常、印刷するトキュメントの設定は、アプリケーションソフトにて行います。この場合は、プリンタの設定に関する権利を特に必要としません。

- (1) アプリケーションソフトの [ファイル]メニューから、プリンタの設定に関するコマンドを選択します。
- (2) 必要な設定を行い、[OK]ボタンをクリックします。

4.2 プリンタのプロパティ設定項目

プリンタのプロパティの設定は、プリンタフォルダから本プリンタのアイコンを右クリックし、表示されたメニューから[プロパティ]を選択して行います。



[ラベル一覧]- [ラベルのプロパティ/ 追加 / 削除]

本プリンタドライバは任意サイズ of 用紙を複数種類登録することができます。

また、用紙毎に、プリンタの印刷に関する諸条件 (センサー指定、各種微調値等) を記憶できるように独自の用紙作成機能を持っています。



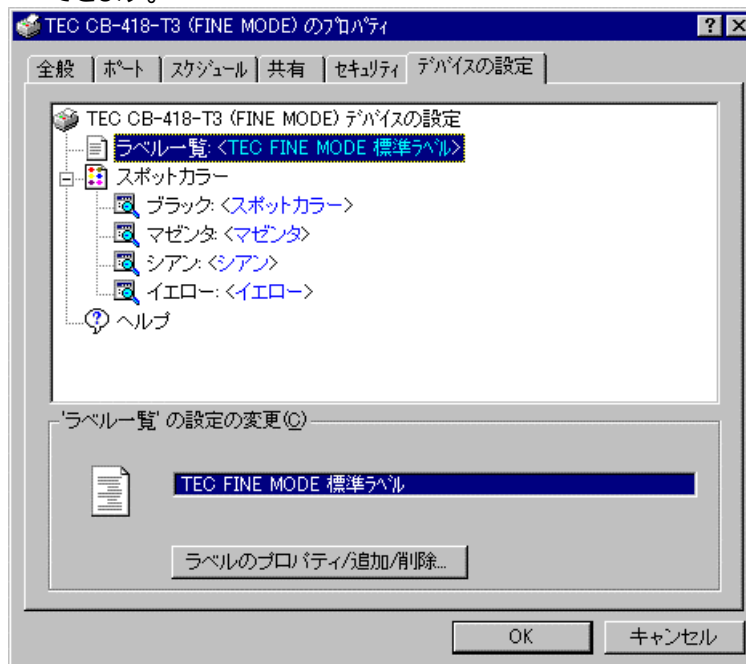
用紙毎に記憶するプリンタの印刷に関する諸条件

- ・ラベルサイズ (幅、高さ、ピッチ)
- ・センサー種別 (センサーなし、反射センサー、透過センサー、透過センサー (印刷ラベル))
- ・発行スピード (6インチ / 秒、4インチ / 秒、FINE MODE : 3インチ / 秒、2インチ / 秒)
- ・カット発行 (カット間隔 0 ~ 100)
- ・印字位置微調整 (フィード量微調、カット位置微調、バックフィード量微調、停止位置微調)
- ・濃度微調整 (各色)
- ・リボン設定 (各リボン : リボン種類、リボン幅、リボンモータ電圧手動設定)
- ・色位置微調整 (各色 : 主走査、副走査方向の色ずれ補正)
- ・印字開始位置微調整 (各色) (FINE MODEのみ設定可)

[スポットカラー]

通常はマゼンタ、シアン、イエローを重ね合わせることで、いろいろな色を表現するプロセスカラーで印刷します。しかし、プロセスカラーで印刷できない特殊な色（金、銀）あるいは、本機のプロセスカラーでは忠実に再現できない色を印刷する場合は、スポットカラーの機能を使用することにより印刷することが可能になります。

「FINE MODE」でご使いいただく場合、下のように、ブラックを「スポットカラー」の設定に、マゼンタ、シアン、イエローはプロセスカラーに設定してください。グラフィックスがより一層きれいに印刷できます。



[ヘルプ]

チェック ボックス プリントドライバのヘルプを表示します。

4.3 ドキュメントのプロパティ設定項目

ドキュメントのプロパティは各アプリケーションの印刷ダイアログやプリンタ設定のプロパティから設定します。

尚、初期値を設定するには、プリンタフォルダから本プリンタのアイコンを右クリックし、表示されたメニューから[ドキュメントの既定値]を選択して行います。(Windows2000/XP の場合は [印刷設定] を選択)



[用紙サイズ]

使用する用紙を選択します。プリンタのプロパティにて登録した用紙種類から選択します。

[印刷の向き]

ドキュメントを印刷する向きを指定します。(縦, 横 (90度回転))

[部数]

印刷する部数を指定します。(1 ~ 9999)



[カラー]

印刷に使用するインクリボンを設定します。グレースケール、4色カラー、3色カラーから選択します。
グレースケール :ブラックのリボンのみを使ってモノクロの印刷を行います。

4色カラー :ブラック、マゼンタ、シアン、イエローの4色のリボンを使って印刷を行います。バーコードや黒い文字を印刷する場合は“4色カラー”を指定した方が黒が鮮明に印刷されます。

3色カラー :マゼンタ、シアン、イエローの3色のリボンを使って印刷を行います。“3色カラー”を印刷するときは、マゼンタ、シアン、イエローの3色を重ね合わせて印刷します。

[タグローテーション]

印刷するイメージを上端または、下端のどちらからプリンタに出力するか指定します。

[リボンセーブ]

リボンセーブの設定をします。

タイプ A :ラベルに 32mm (プレミアムリボンの場合 40mm)以上の無印字エリアがある場合、自動的にリボンを節約して印刷を行います。

タイプ B :印字エリアの手前までリボンを節約して印刷を行います。

しない :ラベルの印字内容に関らず、印刷中は常にリボンを駆動します。

FINE MODEでご使用いただく場合、リボンセーブを“しない”に設定することをお奨めします。
グラフィックスがより一層きれいに印刷できます。

[バックフィード]

用紙の節約の為に、印刷前に用紙をバックフィードします。

[高速データ転送] (WindowsNT用プリンタドライバV1.08より対応)

PCとCB-418-T3間のデータ転送を高速化します (PCの平行ポートとCB-418をセントロニクスケーブルで接続時)。 「する」(モードA,モードB),「しない」を選択できます。

モードA :ラベル印刷内容に関わらず有効なモードです。

モードB :前のページと今のページの全面比較を行い、変更部分のみ抽出します。同じフォーマットのラベルに、一部可変データを有する複数ページの印刷で有効なモードです。

■ “高速データ転送” モードの使用について

「高速データ転送」を「モードA」,「モードB」に設定するとデータを高圧縮で送信するため、高速な印刷が可能となります。

ただし、以下の条件が必要となります。

- ・ご使用のPCのBIOS設定で平行ポートの設定を[ECP]モードに設定する。
- ・プリンタドライバの「高速データ転送」を「する」または「モードA」,「モードB」に設定する。
- ・「モードA」は、CB-418-T3プリンタのファームウェアバージョンがV1.2以降であること。
- ・「モードB」は、CB-418-T3プリンタのファームウェアバージョンがV2.1以降であること。

注意

PCの種類により[ECP]モードにならない又は[ECP]モードにしても転送スピードが変わらないものがあります。

また、PCの平行ポート設定を[ECP]モードに変更した後の印刷で、何も印刷されない又はプリンタが動作しない場合は、PCの平行ポート設定を元の設定に戻してください。

高速データ転送モードを使用する際は、プリンタのファームウェアバージョンがV1.2以降であることを確認してください。

V1.2より古いバージョンの場合は、「高速データ転送」を「しない」に設定してください。「する」に設定して印刷を行った場合は、プリンタ側LCDに“コマンドエラー”が表示されます。

参考

BIOSの設定方法はPCにより異なりますのでPCのマニュアルを参照して設定を行ってください。

以下に一例を示します。(例:AWARD BIOSの場合)

- (1) PCの電源を投入し、[DEL]キーを押してセットアップ画面に入ります。
- (2) BIOSのメニュー画面が表示されますので、その中の[INTEGRATED PERIPHERALS]を選択し、[Enter]を押します。
- (3) [INTEGRATED PERIPHERALS]の設定画面が表示されますので、その中の[Parallel Port Mode]を選択し、[+][-][PU][PD]キーで[ECP]に設定します。
- (4) [ESC]キーでBIOSのメニュー画面に戻り、[SAVE & EXIT SETUP]を選択し、[Enter]を押します。
- (5) PCが再起動されます。

[ミラー印字] (WindowsNT用プリンタドライバV1.09より対応)

ミラー印字を「する」に指定すると、印刷画像を垂直軸を中心にして水平方向に反転して印字します。

※CB-418-T3プリンタのファームウェアバージョンがV1.3以降であること。

[カット制御] (WindowsNT用プリンタドライバV1.12より対応)

カット発行の制御方法を指定します。

ページ単位 : ページの区切りで必ずカットします。

ドキュメント単位 : ドキュメントの区切りで必ずカットします。

印刷ジョブの最後でカット: 印刷ジョブの最後で必ずカットします。

[疑似階調]

印刷対象の画像に対する疑似階調処理を指定します。ディザ1、ディザ2、ディザ3、誤差拡散を選択できます。

ディザ1 : 文字、グラフィックス、写真などの各種画像に対応できるパターンです。

ディザ2 : ディザ1より密なパターンで、細かい文字、グラフィックスなどの画像に適しています。

ディザ3 : 色むらを無くすためのパターンで、グラフィックス、写真などの画像に適しています。

誤差拡散 : はっきりした境界のない写真や絵を印刷する場合は、誤差拡散を選択します。

5. 使用上の注意

5.1 用紙について

使用する用紙 (用紙サイズ) の登録, 追加, 削除

・用紙は、標準ラベルを含めて**最大30種類**まで登録できます。

・印刷する時に使用する用紙 (用紙サイズ) を登録するには、プリンタの [プロパティ] メニューにて行います。

「[プリンタ] フォルダの [ファイル] メニューの [サーバーのプロパティ] にて用紙 (用紙サイズ) を登録しても、本プリンタドライバで使用することはできません。」

・用紙の登録、更新、削除を行う場合は、できるだけ**プリントサーバー**にて行ってください。

「プリンタの追加ウィザード」にてネットワークプリンタサーバーを選択してプリンタドライバをインストールした PC (クライアント側) からは、なるべく用紙の登録、更新、削除はしないようにしてください。接続先のクライアント側から、用紙の登録、更新、削除を行った場合、終了するまでに時間がかかる場合があります。

この場合は、必ず終了を待ってから、次の作業を行ってください。

・用紙の登録、更新、削除を行う場合は、できるだけ**他のアプリケーションを終了**してください。

補足

本プリンタドライバでは、用紙毎に、プリンタの印刷に関する諸条件 (センサー指定、各種微調値等) を記憶できるように独自の用紙作成機能を持っています。このため、一度用紙を登録してしまえば、アプリケーションソフトからは印刷時に用紙を選択するだけで、プリンタの印刷に関する諸条件を設定する必要がなくなります。

用紙名 (ラベル名) について

「この名前のラベルはすでにシステムに登録されています。名前を変更してやり直してください。」のメッセージについて、用紙はプリントサーバーのシステムにて管理されるため、新規に用紙登録を行う場合、システムに登録されていないラベル名を指定する必要があります。既にシステムに登録されている用紙と同じラベル名で登録しようとした場合は、警告メッセージが表示されますのでラベル名を変更して再度用紙登録を行ってください。

補足

上記のように、用紙登録時に指定したラベル名が、システムに登録されているラベル名と重なった場合でも、システムに登録されている用紙が既に不必要となっている場合は、システムから用紙を削除することにより登録しようとするラベル名の変更を回避することができます。

システムに登録されている用紙種類の確認方法について

システムに登録されている用紙の確認は、[プリントサーバーのプロパティ] ダイアログボックスの [用紙] タブの用紙一覧にて行います。

- (1) [スタート] → [設定] → [プリンタ] を選択し、[プリンタ] フォルダを表示します。
- (2) [ファイル] → [サーバーのプロパティ] → [プリントサーバーのプロパティ] ダイアログボックスを開きます。
- (3) [用紙] タブを選択し用紙項目の下に表示されている用紙一覧を見ることにより、現在システムに登録されている用紙種類を確認できます。

システムに登録されている用紙の削除方法について

削除方法は登録した方法により異なります。

弊社プリンタドライバの用紙作成機能にて登録した用紙を削除する。

□ [デバイスの設定]タブのラベル一覧で表示される用紙を削除する場合。

- (1) すべてのアプリケーションソフトを終了します。
- (2) 削除するラベルを登録した弊社プリンタドライバのアイコンを選択して、右クリックします。
- (3) メニューから[プロパティ]を選択し、[デバイスの設定]タブを表示します。
- (4) ラベル一覧の中から削除する用紙を選択後、[ラベルのプロパティ/追加/削除]をクリックし[ラベルのプロパティ]ダイアログボックスを表示します。
- (5) [一般設定]タブから[削除]ボタンで用紙を削除後、[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスを閉じます。

□ [デバイスの設定]タブのラベル一覧にない用紙を削除する場合。

- (1) [スタート]→[設定]→[プリンタ]を選択し、[プリンタ]フォルダを表示します。
- (2) [ファイル]→[サーバーのプロパティ]→[プリントサーバーのプロパティ]ダイアログボックスを開き、[用紙]タブを表示します。
- (3) [用紙]リストから、削除する用紙を選択し、[削除]ボタンで用紙を削除します。

弊社プリンタドライバの用紙作成機能以外で登録した用紙を削除する。

(これらの用紙は弊社プリンタドライバで使用できない用紙です。)

□ [プリンタ]フォルダ→[ファイル]メニュー→[サーバーのプロパティ]ダイアログボックスの用紙作成機能にて登録した用紙を削除する場合。

上記 [デバイスの設定]タブのラベル一覧にない用紙を削除する場合と同様です。

- (1) [スタート]→[設定]→[プリンタ]を選択し、[プリンタ]フォルダを表示します。
- (2) [ファイル]→[サーバーのプロパティ]→[プリントサーバーのプロパティ]ダイアログボックスを開き、[用紙]タブを表示します。
- (3) [用紙]リストから、削除する用紙を選択し、[削除]ボタンで用紙を削除します。

使用する用紙 (用紙サイズ) の指定について

[プリンタ]フォルダの [プロパティ]メニューでは、各アプリケーションソフトを起動した時の初期値として、用紙 (用紙サイズ) を指定することはできません。

5.2 カット間隔について

カット間隔の指定は、指定部数を割り切れる数値に設定してください。
 カット間隔が用紙に設定された場合、指定されたカット制御でカット発行します。
 また、アプリケーションによっては、部数単位での印刷を指定できるものがあります。
 この場合のカット例を以下に示します。

部単位で印刷しない場合

□ カット制御：ページ単位

カット 間隔	ページ 数	部数	結 果 (数字：ページ番号、▲：カットする部数)
1	6	6	1▲1▲1▲1▲1▲1▲2▲2▲2▲2▲2▲2▲3▲3▲3▲3▲3▲3▲4▲4▲4▲4▲4▲4▲ 5▲5▲5▲5▲5▲5▲6▲6▲6▲6▲6▲6▲
2	6	6	11▲11▲11▲22▲22▲22▲33▲33▲33▲44▲44▲44▲55▲55▲55▲66▲66▲66▲
3	6	6	111▲111▲222▲222▲333▲333▲444▲444▲555▲555▲666▲666▲
* 4	6	6	1111▲11▲2222▲22▲3333▲33▲4444▲44▲5555▲55▲6666▲66▲
* 5	6	6	11111▲1▲22222▲2▲33333▲3▲44444▲4▲55555▲5▲66666▲6▲
6	6	6	111111▲222222▲333333▲444444▲555555▲666666▲
* 7	6	6	1111111▲222222▲333333▲444444▲555555▲666666▲

*：カット間隔が、部数を割り切れない数値である場合、各ページの終わり(指定部数単位)でカットされます。また、カット間隔が指定部数を超えた場合、同様に各ページの終わり(指定部数単位)でカットされます。

□ カット制御：ドキュメント単位

カット 間隔	ページ 数	部数	結 果 (数字：ページ番号、▲：カットする部数)
1	6	6	1▲1▲1▲1▲1▲1▲2▲2▲2▲2▲2▲2▲3▲3▲3▲3▲3▲3▲4▲4▲4▲4▲4▲4▲ 5▲5▲5▲5▲5▲5▲6▲6▲6▲6▲6▲6▲
2	6	6	11▲11▲11▲22▲22▲22▲33▲33▲33▲44▲44▲44▲55▲55▲55▲66▲66▲66▲
3	6	6	111▲111▲222▲222▲333▲333▲444▲444▲555▲555▲666▲666▲
4	6	6	1111▲1122▲2222▲3333▲3344▲4444▲5555▲5566▲6666▲
* 5	6	6	11111▲12222▲22333▲33344▲44445▲55555▲66666▲6▲
6	6	6	111111▲222222▲333333▲444444▲555555▲666666▲
* 7	6	6	1111112▲222223▲333344▲4445555▲5566666▲6▲

*：カット間隔が、ページ数×部数を割り切れない数値である場合、最終ページはカットされます。

部単位で印刷した場合

カット 間隔	ページ 数	部数	結 果 (数字：ページ番号、▲：カットする部数)
1	6	6	1▲2▲3▲4▲5▲6▲1▲2▲3▲4▲5▲6▲1▲2▲3▲4▲5▲6▲1▲2▲3▲4▲5▲6▲ 1▲2▲3▲4▲5▲6▲1▲2▲3▲4▲5▲6▲
2	6	6	12▲34▲56▲12▲34▲56▲12▲34▲56▲12▲34▲56▲12▲34▲56▲
3	6	6	123▲456▲123▲456▲123▲456▲123▲456▲123▲456▲123▲456▲
4	6	6	1234▲5612▲3456▲1234▲5612▲3456▲1234▲5612▲3456▲
* 5	6	6	12345▲61234▲56123▲45612▲34561▲23456▲12345▲6▲
6	6	6	123456▲123456▲123456▲123456▲123456▲123456▲
* 7	6	6	1234561▲2345612▲3456123▲4561234▲5612345▲6▲

*：カット間隔が、ページ数×部数を割り切れない数値である場合、最終ページはカットされます。

5.3 制限のあるアプリケーションソフトについて

「CorelDRAW! 6.0J」/ Corel社のページレイアウトの設定について

CorelDRAW! 6.0Jにてページレイアウトの設定を行う場合、[レイアウト]→[ページレイアウトの設定]→[プリンタから設定]を選択すると、描画ウィンドウのページ枠に反映されません。その時は[レイアウト]タブにおける他の条件を一度変更してから元に戻します。その後、[OK]ボタンをクリックして[ページレイアウトの設定]ダイアログボックスを閉じます。

(他の条件の変更例)印刷の向きのラジオボタン

●縦置き → ●横置き → ●縦置き

「PageMaker」/ アドビシステムズ株式会社からの発行について

PageMakerから印刷する際は、はじめに[スタート]→[設定]→[プリンタ]を選択し、使用するプリンタ名を右クリックして、[ドキュメントの既定値]を選択し、印刷に関する設定を行ってから、PageMakerを起動し、[ファイル]→[プリント]→[印刷]の手順で発行してください。

PageMakerの[ファイル]→[プリント]→[用紙設定]を選択し、[プリンタのドキュメントのプロパティ]ダイアログボックスを開き、[OK]ボタンを押すと、印字内容がずれてしまいイメージ通りに印刷されません。

WindowsNT4.0/2000/XP 対応

CB-418-T3

プリンタドライバ概略説明書

2002 年 7 月 第 9 版 発行

CT3WNT09

発行 東芝テック株式会社

流通情報システムカンパニー

〒103-8482 東京都中央区日本橋浜町 3-21-1

©TOSHIBA TEC CORPORATION,1999 - 2002

無断複写及び転載を禁ず